

花畑団地 16号棟

床衝撃音遮断性能測定結果

共同研究

2013年8月29日

技術研究所

番号	測定場所	花畑団地16棟		床仕上げ高
	試験対象	加振室	受音室	
		202号室南側	102号室南側	
1	現状量 (旧畳)			140
2	スラブ素面		スラブ厚 110(mm) (設計値)	-
3	試験体1	ニューシンカ工法床組 (端部不陸調整モルタル施工) ・D種フローリング		140
4	花畑団地16号棟	ニューシンカ工法床組 (端部不陸調整モルタル施工、 <b>支持脚ゴム接着固定</b> ) ・D種フローリング <b>施工不</b>		140
5	試験体2 (再測定)	ニューシンカ工法床組 (端部不陸調整モルタル施工、 <b>支持脚ゴム接着固定</b> ) ・D種フローリング		140

加振源：重量標準音源1 (バングマシン)

単位dB

番号	試験対象	1/1オクターブ帯域中心周波数 (Hz)							L数		決定周波数 (Hz)	
		31.5	63	125	250	500	1000	2000	整数	少数点一位		
1	現状量 (旧畳)	96.0	<b>85.1</b>	74.8	63.1	58.0	49.3	41.1	62	62.1	63	
2	スラブ素面	95.9	<b>91.6</b>	72.9	62.9	58.1	53.4	50.1	69	68.6	63	
3	試験体1	92.0	81.2	71.8	68.0	<b>67.9</b>	51.9	46.8	68	67.9	500	
4	試験体2	—	施工不良。個別データ有り。					—	—	—	—	—
5	試験体2 (再測定)	91.5	<b>80.5</b>	68.0	55.5	47.1	42.6	39.9	58	57.5	63	

注1) 表中の背景色のハッチ パターンは、分析対象外である事を表している。

加振源：重量標準音源2 (インパクトボール)

単位dB

番号	試験対象	1/1オクターブ帯域中心周波数 (Hz)							L数		決定周波数 (Hz)	
		31.5	63	125	250	500	1000	2000	整数	少数点一位		
1	現状量 (旧畳)	90.8	79.3	<b>71.6</b>	59.3	53.1	40.1	33.0	59	58.6	125	
2	スラブ素面	90.8	83.9	73.8	66.7	<b>61.9</b>	51.5	46.6	62	61.9	500	
3	試験体1	82.3	73.7	<b>66.9</b>	55.9	46.4	34.7	29.0	54	53.9	125	
4	試験体2	—	施工不良のため、測定せず					—	—	—	—	—
5	試験体2 (再測定)	82.5	74.6	<b>67.5</b>	54.2	45.7	35.1	35.4	55	54.5	125	

注1) 表中の背景色のハッチ パターンは、分析対象外である事を表している。

加振源：軽量標準音源 (タッピングマシン)

単位dB

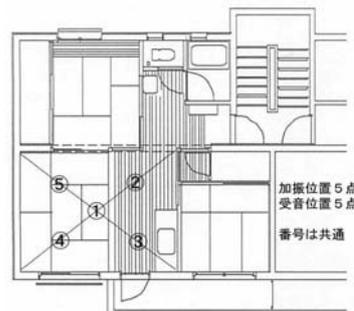
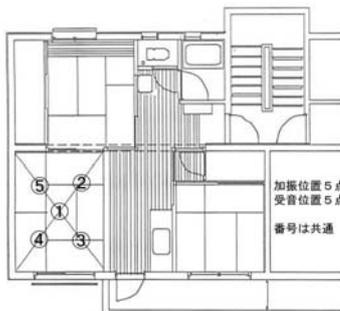
番号	試験対象	1/1オクターブ帯域中心周波数 (Hz)							L数		決定周波数 (Hz)	
		63	125	250	500	1000	2000	4000	整数	少数点一位		
1	現状量 (旧畳)	62.6	<b>55.9</b>	42.7	32.6	26.4	16.8	13.2	43	42.9	125	
2	スラブ素面	72.3	73.7	77.0	81.4	81.6	<b>81.6</b>	78.5	86	85.6	2000	
3	試験体1	56.9	67.0	<b>62.1</b>	53.7	45.9	36.1	26.6	56	56.1	250	
4	試験体2	—	施工不良のため、測定せず					—	—	—	—	—
5	試験体2 (再測定)	60.7	66.3	<b>62.0</b>	55.0	45.3	36.7	26.0	56	56.0	250	

注1) 表中の背景色のハッチ パターンは、分析対象外である事を表している。

加振点及び受音位置

荒床有り  
1現状量 (旧畳)

荒床撤去後  
2スラブ素面  
3試験体1  
4試験体2  
5試験体2



測定結果の問い合わせ先

平成25年技術研究所調査測定業務受託者

株式会社 URリンケージ

都市・居住本部 構造技術部 試験研究課

中島 一洋 / 溝口 忠

床衝撃音遮断性能測定結果

測定場所	花畑団地 1 6号棟		
測定日時等	平成25年5月14日(火) 10:30~12:15 晴れ 20°C 65%		
測定内容	重量床衝撃音遮断性能測定 (バングマシン・インパクトボール)		
測定室	加振室	202号室 (南側)和室	スラブ厚 110 (mm) (設計値)
	受音室	102号室 (南側)和室	
測定方法	JIS A 1418-1:2000 建築物の床衝撃音遮断性能の測定方法第1部:標準軽量衝撃源による方法 に準拠。		
	JIS A 1418-2:2000 建築物の床衝撃音遮断性能の測定方法第1部:標準重量衝撃源による方法 に準拠。		
評価方法	JIS A 1419-1:2000 建築物及び建築部材の遮音性能の評価方法 に準拠		
番号・試験体名	1 現状量 (旧畳)		
バングマシン分析条件	最大音圧レベル(Lmax) 5回加振の平均値 Fast Flat		
インパクトボール分析条件	最大音圧レベル(Lmax) 5回加振の平均値 Fast Flat		
暗騒音分析条件	等価音圧レベル(Leq) 10秒間 Fast Flat		

加振源:重量標準音源1(バングマシン)

単位dB

加振位置	1/1オクターブ帯域中心周波数 (Hz)							L数	決定周波数 (Hz)
	31.5	63	125	250	500	1000	2000		
1	99.4	88.2	74.9	63.8	62.3	56.2	45.7	62	63
2	99.0	87.9	75.6	62.0	59.0	48.6	40.6		
3	97.6	85.9	73.0	64.1	56.3	44.9	39.3		
4	91.6	82.4	77.0	62.8	55.3	46.3	34.9		
5	92.5	81.3	73.6	62.6	57.2	50.4	45.1		
平均値	96.0	85.1	74.8	63.1	58.0	49.3	41.1		

加振源:重量標準音源2(インパクトボール)

単位dB

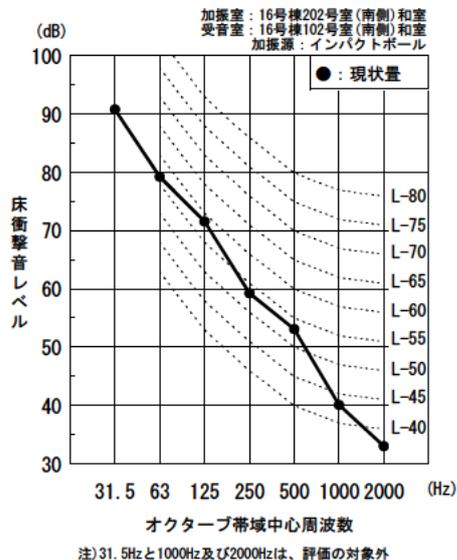
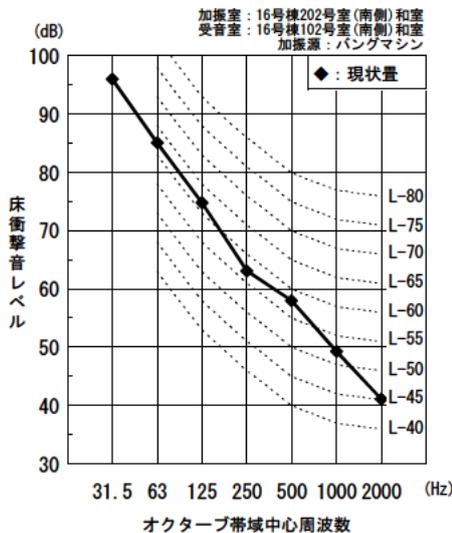
加振位置	1/1オクターブ帯域中心周波数 (Hz)							L数	決定周波数 (Hz)
	31.5	63	125	250	500	1000	2000		
1	92.6	82.0	71.6	59.2	53.3	41.7	39.5	59	125
2	90.7	80.7	71.0	57.6	48.1	36.9	30.8		
3	94.3	79.5	68.5	58.8	56.9	43.3	35.1		
4	88.4	76.9	73.1	62.5	54.6	41.0	29.8		
5	88.1	77.2	73.8	58.5	52.6	37.7	29.9		
平均値	90.8	79.3	71.6	59.3	53.1	40.1	33.0		

注1) 表中の背景色のハッチパターンは、分析対象外であることを表している。

暗騒音

単位dB

1/1オクターブ帯域中心周波数 (Hz)							
63	125	250	500	1000	2000	4000	
43.1	38.2	31.3	26.1	18.0	18.0	12.7	



床衝撃音遮断性能測定結果

測定場所	花畑団地 16号棟		
測定日時等	平成25年5月14日(火) 10:30~12:15 晴れ 20°C 65%		
測定内容	軽量床衝撃音遮断性能測定 (加振源: タッピングマシン)		
測定室	加振室	202号室 (南側)和室	スラブ厚 110 (mm) (設計値)
	受音室	102号室 (南側)和室	
測定方法	JIS A 1418-1:2000 建築物の床衝撃音遮断性能の測定方法第1部: 標準軽量衝撃源による方法 に準拠。		
	JIS A 1418-2:2000 建築物の床衝撃音遮断性能の測定方法第1部: 標準重量衝撃源による方法 に準拠。		
評価方法	JIS A 1419-1:2000 建築物及び建築部材の遮音性能の評価方法 に準拠		
試験体番号・名称	1 現状量 (旧畳)		
タッピングマシン分析条件	等価音圧レベル(L <sub>eq</sub> )	10秒間	Fast Flat
暗騒音分析条件	等価音圧レベル(L <sub>eq</sub> )	10秒間	Fast Flat

加振源: 軽量標準音源 (タッピングマシン)

単位dB

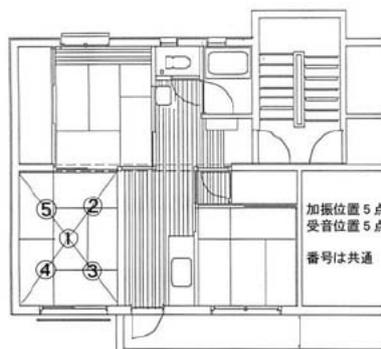
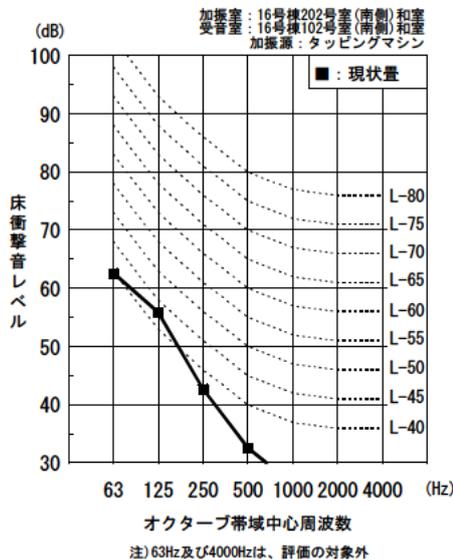
加振位置	1/1オクターブ帯域中心周波数 (Hz)							L 数	決定周波数 (Hz)
	63	125	250	500	1000	2000	4000		
1	67.0	57.0	46.3	33.4	24.9	18.0	13.3	43	125
2	58.2	47.6	35.3	29.0	19.5	16.0	12.6		
3	58.0	54.6	42.6	31.2	20.3	16.5	12.7		
4	66.0	60.0	44.6	33.4	22.0	16.7	13.4		
5	63.6	60.0	44.5	35.9	27.9	16.6	13.8		
平均値	62.6	55.9	42.7	32.6	26.4	16.8	13.2		

注1) 表中の背景色のハッチ パターンは、分析対象外であることを表している。

暗騒音

単位dB

1/1オクターブ帯域中心周波数 (Hz)						
63	125	250	500	1000	2000	4000
41.3	33.5	24.5	19.8	16.7	15.1	12.6



加振点及び受音位置 現状量

床衝撃音遮断性能測定結果

測定場所	花畑団地 16棟		
測定日時等	平成25年5月27日(月) 11:10~12:20 晴れ 23℃ 60%		
測定内容	重量床衝撃音遮断性能測定 (バングマシン・インパクトボール)		
測定室	加振室	202号室 (南側) 旧和室+旧台所	スラブ厚 110 (mm) (設計値)
	受音室	102号室 (南側) 和室+台所	二次発生の影響を避けるために欄間の襖は、撤去した
測定方法	JIS A 1418-1:2000 建築物の床衝撃音遮断性能の測定方法第1部: 標準軽量衝撃源による方法 に準拠。		
	JIS A 1418-2:2000 建築物の床衝撃音遮断性能の測定方法第1部: 標準重量衝撃源による方法 に準拠。		
評価方法	JIS A 1419-1:2000 建築物及び建築部材の遮音性能の評価方法 に準拠		
番号・試験体名	2 スラブ素面		
バングマシン分析条件	最大音圧レベル(Lmax) 5回加振の平均値 Fast Flat		
インパクトボール分析条件	最大音圧レベル(Lmax) 5回加振の平均値 Fast Flat		
暗騒音分析条件	等価音圧レベル(Leq) 10秒間 Fast Flat		

加振源: 重量標準音源 1 (バングマシン)

単位dB

加振位置	1/1オクターブ帯域中心周波数 (Hz)							L 数	決定周波数 (Hz)
	31.5	63	125	250	500	1000	2000		
1	100.3	86.4	72.1	63.1	59.6	55.3	50.0	69	63
2	98.9	95.4	75.4	64.6	59.7	54.1	52.3		
3	96.6	94.4	72.7	63.8	60.0	56.7	53.1		
4	90.9	89.6	71.2	61.2	54.7	50.0	48.0		
5	92.8	92.3	73.3	61.6	56.6	50.8	47.2		
平均値	95.9	91.6	72.9	62.9	58.1	53.4	50.1		

加振源: 重量標準音源 2 (インパクトボール)

単位dB

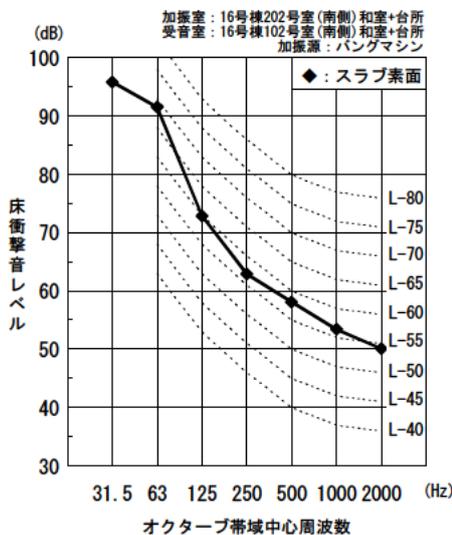
加振位置	1/1オクターブ帯域中心周波数 (Hz)							L 数	決定周波数 (Hz)
	31.5	63	125	250	500	1000	2000		
1	94.4	79.3	72.4	66.3	62.2	50.5	47.1	62	500
2	93.1	86.7	76.4	69.2	65.5	53.8	47.7		
3	92.1	85.8	74.1	69.0	60.7	53.2	47.8		
4	86.8	82.9	71.9	64.1	58.4	48.4	43.2		
5	87.7	84.8	74.2	64.9	62.5	51.6	47.3		
平均値	90.8	83.9	73.8	66.7	61.9	51.5	46.6		

注1) 表中の背景色のハッチ パターンは、分析対象外であることを表している。

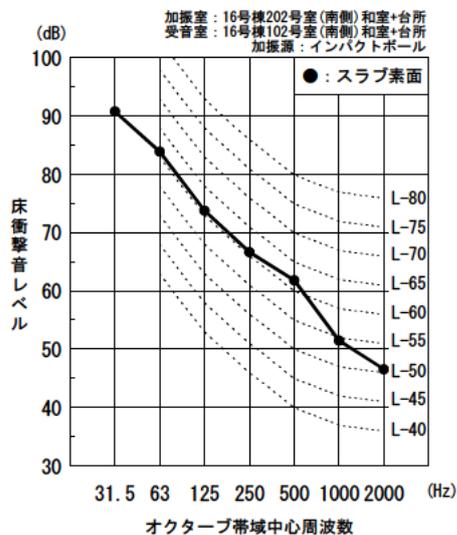
暗騒音

単位dB

1/1オクターブ帯域中心周波数 (Hz)							
63	125	250	500	1000	2000	4000	
41.4	35.7	25.1	22.9	20.6	17.9	14.8	



注) 31.5Hzと1000Hz及び2000Hzは、評価の対象外



注) 31.5Hzと1000Hz及び2000Hzは、評価の対象外

床衝撃音遮断性能測定結果

測定場所	花畑団地 16号棟		
測定日時等	平成25年5月27日(月) 11:10~12:20 晴れ 23°C 60%		
測定内容	軽量床衝撃音遮断性能測定 (加振源: タッピングマシン)		
測定室	加振室	202号室 (南側) 旧和室+旧台所	スラブ厚 110 (mm) (設計値)
	受音室	102号室 (南側) 和室+台所	二次発生音の影響を避けるために欄間の襖は、撤去した
測定方法	JIS A 1418-1:2000 建築物の床衝撃音遮断性能の測定方法第1部: 標準軽量衝撃源による方法 に準拠。		
	JIS A 1418-2:2000 建築物の床衝撃音遮断性能の測定方法第1部: 標準重量衝撃源による方法 に準拠。		
評価方法	JIS A 1419-1:2000 建築物及び建築部材の遮音性能の評価方法 に準拠		
試験体番号・名称	2 スラブ素面		
タッピングマシン分析条件	等価音圧レベル(L <sub>eq</sub> )	10秒間	Fast Flat
暗騒音分析条件	等価音圧レベル(L <sub>eq</sub> )	10秒間	Fast Flat

加振源: 軽量標準音源 (タッピングマシン)

単位dB

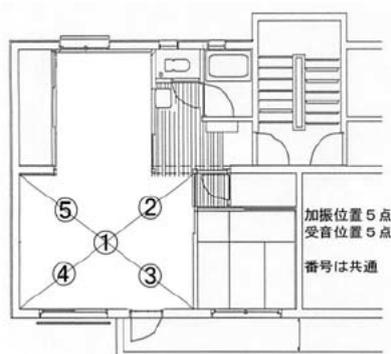
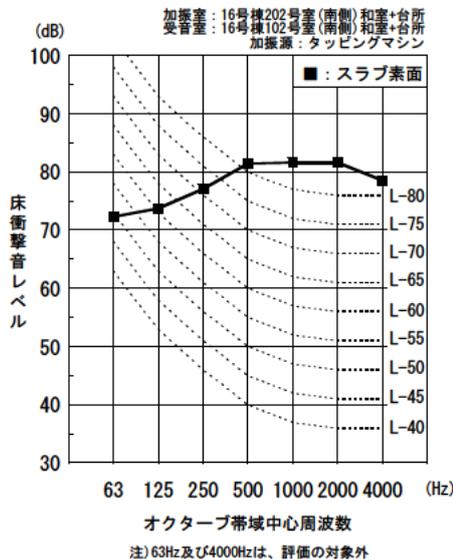
加振位置	1/1オクターブ帯域中心周波数 (Hz)							L 数	決定周波数 (Hz)
	63	125	250	500	1000	2000	4000		
1	67.7	73.2	76.0	81.0	81.3	81.2	78.3	86	2000
2	74.8	75.1	78.4	83.7	82.5	81.4	78.0		
3	73.7	73.8	79.1	81.7	81.7	81.8	78.4		
4	71.8	72.2	75.8	79.7	80.5	81.6	79.1		
5	73.8	74.2	75.8	80.7	82.1	82.2	78.7		
平均値	72.3	73.7	77.0	81.4	81.6	81.6	78.5		

注1) 表中の背景色のハッチ パターンは、分析対象外であることを表している。

暗騒音

単位dB

1/1オクターブ帯域中心周波数 (Hz)						
63	125	250	500	1000	2000	4000
40.9	34.7	22.7	21.9	19.0	16.5	14.4



加振点及び受音位置 スラブ素面

床衝撃音遮断性能測定結果

測定場所	花畑団地 16号棟		
測定日時等	平成25年6月12日(水) 14:00~15:20 晴れ 23℃ 68%		
測定内容	重量床衝撃音遮断性能測定 (バングマシン・インパクトボール)		
測定室	加振室	202号室 (南側) 旧和室+旧台所	スラブ厚 110 (mm) (設計値)
	受音室	102号室 (南側) 和室+台所	二次発生音の影響を避けるために欄間の襖は、撤去した
測定方法	JIS A 1418-1:2000 建築物の床衝撃音遮断性能の測定方法第1部: 標準軽量衝撃源による方法 に準拠。 JIS A 1418-2:2000 建築物の床衝撃音遮断性能の測定方法第1部: 標準重量衝撃源による方法 に準拠。		
評価方法	JIS A 1419-1:2000 建築物及び建築部材の遮音性能の評価方法 に準拠		
番号・試験体名	3 試験体1 ニューシンカ工法床組 (端部不陸調整モルタル施工) ・D種フローリング		
バングマシン分析条件	最大音圧レベル(Lmax) 5回加振の平均値 Fast Flat		
インパクトボール分析条件	最大音圧レベル(Lmax) 5回加振の平均値 Fast Flat		
暗騒音分析条件	等価音圧レベル(Leq) 10秒間 Fast Flat		

加振源: 重量標準音源 1 (バングマシン)

単位dB

加振位置	1/1オクターブ帯域中心周波数 (Hz)							L 数	決定周波数 (Hz)
	31.5	63	125	250	500	1000	2000		
1	94.5	85.0	70.4	67.8	68.4	52.5	46.3	68	500
2	93.4	78.4	73.7	68.1	67.4	51.8	46.2		
3	91.8	79.1	71.6	70.5	72.1	53.3	48.7		
4	89.6	82.1	71.7	67.5	66.2	50.1	44.7		
5	90.6	81.2	71.6	66.1	65.5	51.8	48.1		
平均値	92.0	81.2	71.8	68.0	67.9	51.9	46.8		

加振源: 重量標準音源 2 (インパクトボール)

単位dB

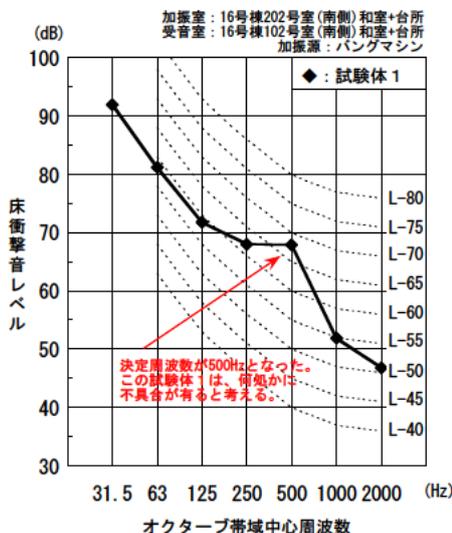
加振位置	1/1オクターブ帯域中心周波数 (Hz)							L 数	決定周波数 (Hz)
	31.5	63	125	250	500	1000	2000		
1	87.1	78.8	67.8	59.3	53.6	40.1	35.5	54	125
2	83.0	69.0	67.7	54.1	42.0	32.8	27.7		
3	82.0	70.7	67.2	54.7	46.9	36.2	26.3		
4	78.1	73.6	67.1	56.3	43.2	31.2	24.6		
5	81.4	76.7	64.5	55.2	46.5	33.3	30.9		
平均値	82.3	73.7	66.9	55.9	46.4	34.7	29.0		

注1) 表中の背景色のハッチ パターンは、分析対象外であることを表している。

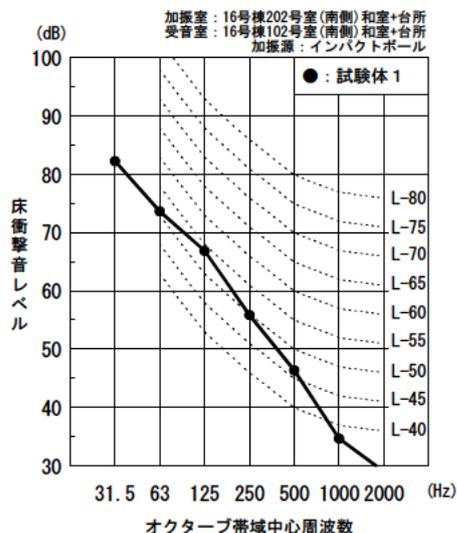
暗騒音

単位dB

1/1オクターブ帯域中心周波数 (Hz)						
63	125	250	500	1000	2000	4000
41.4	38.6	26.4	24.9	18.9	16.8	14.3



注) 31.5Hzと1000Hz及び2000Hzは、評価の対象外



注) 31.5Hzと1000Hz及び2000Hzは、評価の対象外

床衝撃音遮断性能測定結果

測定場所	花畑団地 16号棟		
測定日時等	平成25年6月12日(水) 14:00~15:20 晴れ 23℃ 68%		
測定内容	軽量床衝撃音遮断性能測定 (加振源: タッピングマシン)		
測定室	加振室	202号室 (南側) 旧和室+旧台所	スラブ厚 110 (mm) (設計値)
	受音室	102号室 (南側) 和室+台所	二次発生の影響を避けるために欄間の襖は、撤去した
測定方法	JIS A 1418-1:2000 建築物の床衝撃音遮断性能の測定方法第1部: 標準軽量衝撃源による方法 に準拠。		
	JIS A 1418-2:2000 建築物の床衝撃音遮断性能の測定方法第1部: 標準重量衝撃源による方法 に準拠。		
評価方法	JIS A 1419-1:2000 建築物及び建築部材の遮音性能の評価方法 に準拠		
試験体番号・名称	3 試験体1 ニューシカ工法床組 (端部不陸調整モルタル施工) ・D種フローリング		
タッピングマシン分析条件	等価音圧レベル(L <sub>eq</sub> )	10秒間	Fast Flat
暗騒音分析条件	等価音圧レベル(L <sub>eq</sub> )	10秒間	Fast Flat

加振源: 軽量標準音源 (タッピングマシン)

単位dB

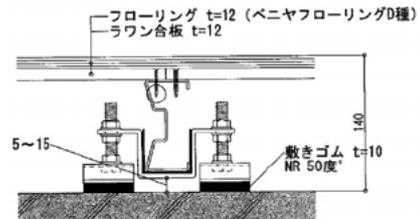
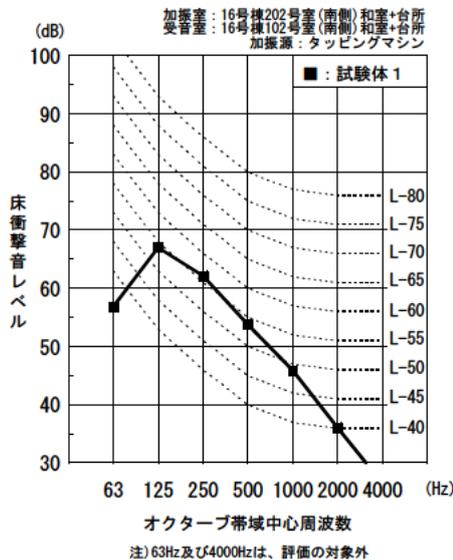
加振位置	1/1オクターブ帯域中心周波数 (Hz)							L 数	決定周波数 (Hz)
	63	125	250	500	1000	2000	4000		
1	55.7	70.2	62.6	54.8	46.0	36.9	24.0	56	250
2	57.5	66.0	62.1	54.0	47.8	38.1	26.6		
3	56.6	65.9	61.5	55.5	49.3	39.4	26.6		
4	58.5	65.6	62.2	52.1	43.5	33.7	23.2		
5	56.8	67.4	62.1	52.2	43.1	32.5	22.0		
平均値	56.9	67.0	62.1	53.7	45.9	36.1	26.6		

注1) 表中の背景色のハッチ パターンは、分析対象外であることを表している。

暗騒音

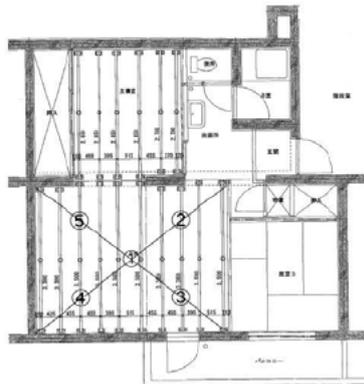
単位dB

1/1オクターブ帯域中心周波数 (Hz)						
63	125	250	500	1000	2000	4000
43.2	39.3	26.3	24.5	19.2	17.6	18.6



ビーム端部断面図

試験体1 断面図



加振点及び受音位置 試験体 1

床衝撃音遮断性能測定結果

測定場所	花畑団地 16号棟		
測定日時等	平成25年7月25日(木) 10:40~10:50 晴れ 28℃ 68%		
測定内容	重量床衝撃音遮断性能測定 (バングマシン・インパクトボール)		
測定室	加振室	202号室 (南側) 旧和室+旧台所	スラブ厚 110 (mm) (設計値)
	受音室	102号室 (南側) 和室+台所	二次発生の影響を避けるために欄間の襖は、撤去した
測定方法	JIS A 1418-1:2000 建築物の床衝撃音遮断性能の測定方法第1部：標準軽量衝撃源による方法 に準拠。		
	JIS A 1418-2:2000 建築物の床衝撃音遮断性能の測定方法第1部：標準重量衝撃源による方法 に準拠。		
評価方法	JIS A 1419-1:2000 建築物及び建築部材の遮音性能の評価方法 に準拠		
番号・試験体名	4 試験体2 ニューシンカ工法床組 (端部不陸調整モルタル施工、支持脚ゴム接着固定) D種フローリング		
バングマシン分析条件	最大音圧レベル(Lmax) 5回加振の平均値 Fast Flat		
インパクトボール分析条件	最大音圧レベル(Lmax) 5回加振の平均値 Fast Flat		
暗騒音分析条件	等価音圧レベル(Leq) 10秒間 Fast Flat		

加振源：重量標準音源 1 (バングマシン)

単位dB

加振位置	1/1オクターブ帯域中心周波数 (Hz)							L 数	決定周波数 (Hz)
	31.5	63	125	250	500	1000	2000		
1	95.6	83.6	68.9	54.9	50.7	44.4	38.8	58	500
2	94.6	76.8	72.5	72.5	74.5	71.9	68.0		
3	92.3	77.9	72.6	72.2	73.6	67.8	61.7		
4	91.3	80.8	66.1	52.7	44.6	38.6	33.2		
5	90.9	80.7	65.3	53.8	46.8	39.8	33.4		
平均値	93.0	80.0	69.1	61.2	58.0	52.5	47.0		

注) 加振点2と3の太字は、施工不良による二次発生の影響と考える

加振源：重量標準音源 2 (インパクトボール)

単位dB

加振位置	1/1オクターブ帯域中心周波数 (Hz)							L 数	決定周波数 (Hz)
	31.5	63	125	250	500	1000	2000		
1									
2									
3									
4									
5									
平均値									

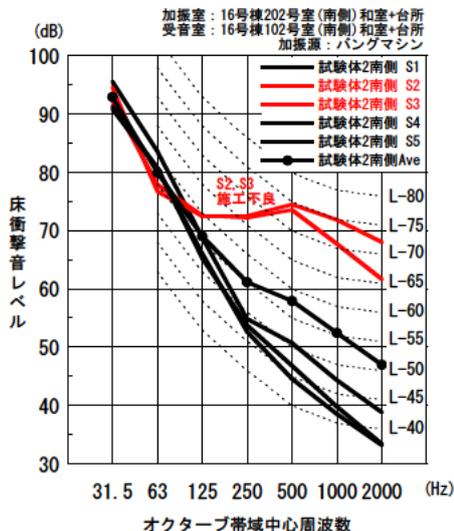
施工不良による二次発生の音があり、測定せず

注1) 表中の背景色のハッチ パターンは、分析対象外であることを表している。

暗騒音

単位dB

1/1オクターブ帯域中心周波数 (Hz)						
63	125	250	500	1000	2000	4000



床衝撃音遮断性能測定結果

測定場所	花畑団地 16号棟		
測定日時等	平成25年7月25日(木) 10:40~10:50 晴れ 28℃ 68%		
測定内容	軽量床衝撃音遮断性能測定(加振源:タッピングマシン)		
測定室	加振室	202号室(南側)旧和室+旧台所	スラブ厚 110 (mm) (設計値)
	受音室	102号室(南側)和室+台所	二次発生音の影響を避けるために欄間の襖は、撤去した
測定方法	JIS A 1418-1:2000 建築物の床衝撃音遮断性能の測定方法第1部:標準軽量衝撃源による方法 に準拠。 JIS A 1418-2:2000 建築物の床衝撃音遮断性能の測定方法第1部:標準重量衝撃源による方法 に準拠。		
評価方法	JIS A 1419-1:2000 建築物及び建築部材の遮音性能の評価方法 に準拠		
試験体番号・名称	4 試験体2 ニューシンカ工法床組(端部不陸調整モルタル施工、支持脚ゴム接着固定) D種フローリング		
タッピングマシン分析条件	等価音圧レベル(L <sub>eq</sub> )	10秒間	Fast Flat
暗騒音分析条件	等価音圧レベル(L <sub>eq</sub> )	10秒間	Fast Flat

加振源:軽量標準音源(タッピングマシン)

単位dB

加振位置	1/1オクターブ帯域中心周波数 (Hz)							L数	決定周波数 (Hz)
	63	125	250	500	1000	2000	4000		
1								4	2000
2									
3									
4									
5									
平均値									

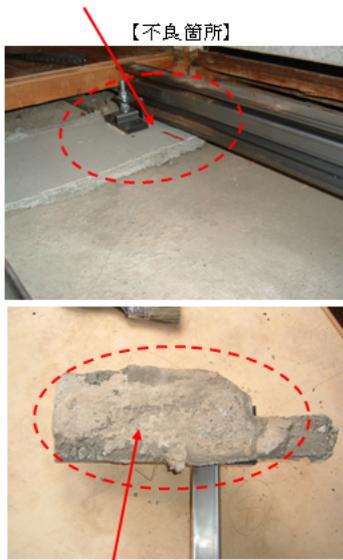
注1) 表中の背景色のハッチパターンは、分析対象外であることを表している。

暗騒音

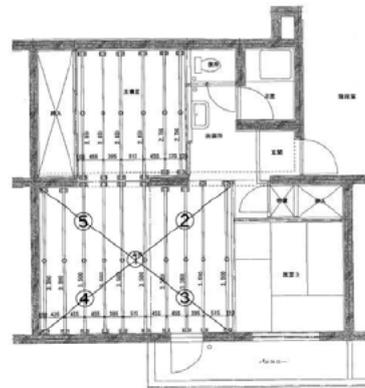
単位dB

1/1オクターブ帯域中心周波数 (Hz)							
63	125	250	500	1000	2000	4000	

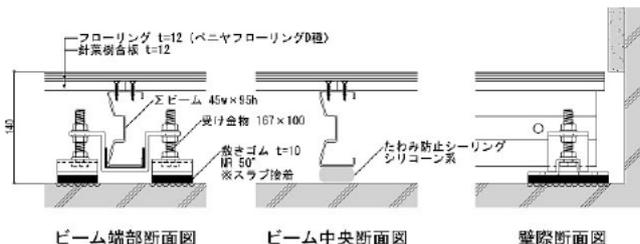
この部分が剥離していた



建築時のモルタルのようなもの(白い部分)がスラブから剥離して剥がれた模様



加振点及び受音位置



試験体2断面図

床衝撃音遮断性能測定結果

測定場所	花畑団地 1 6号棟		
測定日時等	平成25年8月23日(金) 10:55~11:40 晴れ		
測定内容	重量床衝撃音遮断性能測定 (バングマシン・インパクトボール)		
測定室	加振室	202号室 (南側) 旧和室+旧台所	スラブ厚 110 (mm) (設計値)
	受音室	102号室 (南側) 和室+台所	二次発生音の影響を避けるために欄間の襖は、撤去した
測定方法	JIS A 1418-1:2000 建築物の床衝撃音遮断性能の測定方法第1部: 標準軽量衝撃源による方法 に準拠。		
	JIS A 1418-2:2000 建築物の床衝撃音遮断性能の測定方法第1部: 標準重量衝撃源による方法 に準拠。		
評価方法	JIS A 1419-1:2000 建築物及び建築部材の遮音性能の評価方法 に準拠		
番号・試験体名	5 試験体2(再測定) ニューシンカ工法床組(端部不陸調整モルタル施工、支持脚ゴム接着固定) D種フローリング		
バングマシン分析条件	最大音圧レベル(Lmax) 5回加振の平均値 Fast Flat		
インパクトボール分析条件	最大音圧レベル(Lmax) 5回加振の平均値 Fast Flat		
暗騒音分析条件	等価音圧レベル(Leq) 10秒間 Fast Flat		

加振源: 重量標準音源 1 (バングマシン)

単位dB

加振位置	1/1オクターブ帯域中心周波数 (Hz)							L 数	決定周波数 (Hz)
	31.5	63	125	250	500	1000	2000		
1	94.3	84.0	67.2	57.7	47.5	44.2	40.1	58	63
2	92.7	80.1	73.2	56.1	50.1	44.0	39.0		
3	91.7	77.2	69.9	55.3	47.7	42.5	37.7		
4	90.1	81.5	64.5	52.9	45.2	42.3	41.8		
5	88.8	80.0	65.2	55.4	45.2	40.0	40.9		
平均値	91.5	80.5	68.0	55.5	47.1	42.6	39.9		

加振源: 重量標準音源 2 (インパクトボール)

単位dB

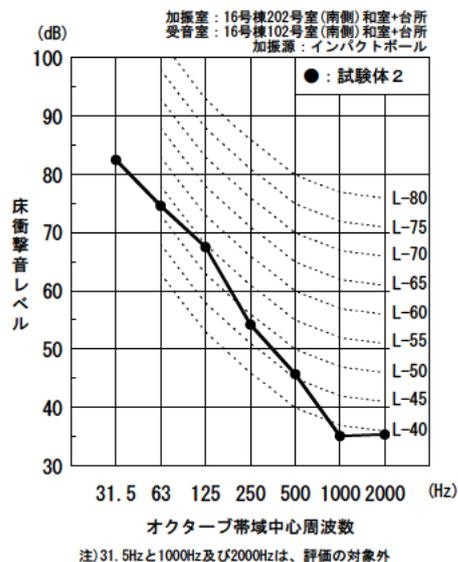
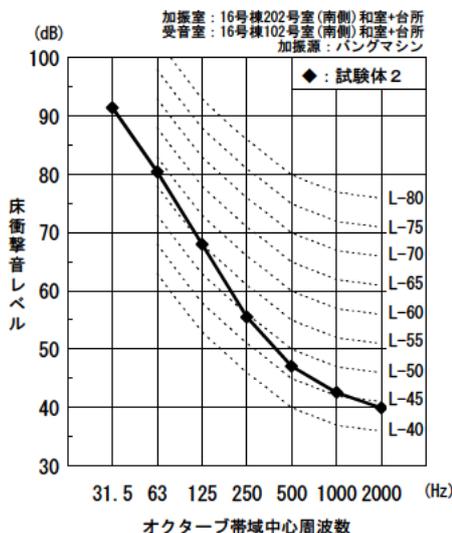
加振位置	1/1オクターブ帯域中心周波数 (Hz)							L 数	決定周波数 (Hz)
	31.5	63	125	250	500	1000	2000		
1	86.0	78.0	67.7	56.5	44.9	40.0	40.4	55	125
2	83.7	69.4	70.4	52.4	47.1	35.3	27.9		
3	82.0	71.1	68.8	52.9	46.7	34.7	37.9		
4	79.7	76.4	66.9	54.5	44.3	30.5	26.5		
5	80.9	78.2	63.4	54.5	45.5	29.0	23.4		
平均値	82.5	74.6	67.5	54.2	45.7	35.1	35.4		

注1) 表中の背景色のハッチ パターンは、分析対象外であることを表している。

暗騒音

単位dB

1/1オクターブ帯域中心周波数 (Hz)						
63	125	250	500	1000	2000	4000
49.2	38.7	26.9	25.0	22.5	19.1	19.7



床衝撃音遮断性能測定結果

測定場所	花畑団地 1 6号棟		
測定日時等	平成25年8月23日(金) 10:55~11:40 晴れ		
測定内容	軽量床衝撃音遮断性能測定 (加振源: タッピングマシン)		
測定室	加振室	202号室 (南側) 旧和室+旧台所	スラブ厚 110 (mm) (設計値)
	受音室	102号室 (南側) 和室+台所	二次発生音の影響を避けるために欄間の襖は、撤去した
測定方法	JIS A 1418-1:2000 建築物の床衝撃音遮断性能の測定方法第1部: 標準軽量衝撃源による方法 に準拠。		
	JIS A 1418-2:2000 建築物の床衝撃音遮断性能の測定方法第1部: 標準重量衝撃源による方法 に準拠。		
評価方法	JIS A 1419-1:2000 建築物及び建築部材の遮音性能の評価方法 に準拠		
試験体番号・名称	5 試験体2(再測定) ニューシンカ工法床組 (端部不陸調整モルタル施工、支持脚ゴム接着固定) D種フローリング		
タッピングマシン分析条件	等価音圧レベル(L <sub>eq</sub> )	10秒間	Fast Flat
暗騒音分析条件	等価音圧レベル(L <sub>eq</sub> )	10秒間	Fast Flat

加振源: 軽量標準音源 (タッピングマシン)

単位dB

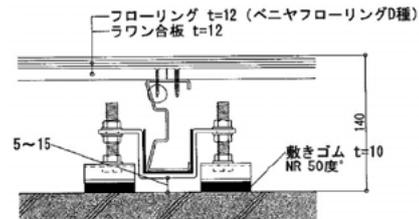
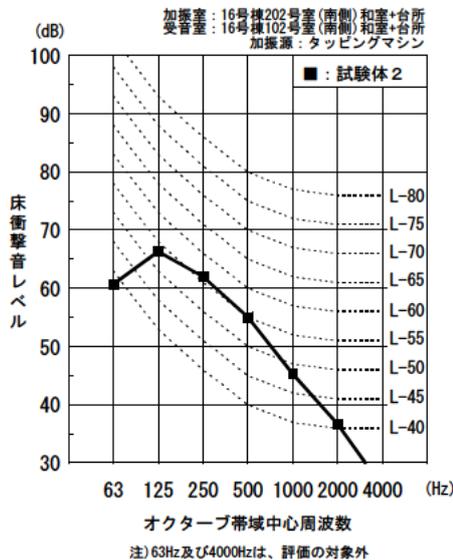
加振位置	1/1オクターブ帯域中心周波数 (Hz)							L 数	決定周波数 (Hz)
	63	125	250	500	1000	2000	4000		
1	58.9	68.6	64.0	54.6	45.5	35.2	24.4	56	250
2	57.6	65.9	61.8	55.3	48.3	39.6	29.3		
3	59.1	66.2	61.6	57.2	48.2	39.1	28.9		
4	62.6	65.3	61.1	53.1	40.7	33.4	23.2		
5	56.9	65.5	61.3	54.8	44.0	36.0	24.0		
平均値	60.7	66.3	62.0	55.0	45.3	36.7	26.0		

注1) 表中の背景色のハッチ パターンは、分析対象外であることを表している。

暗騒音

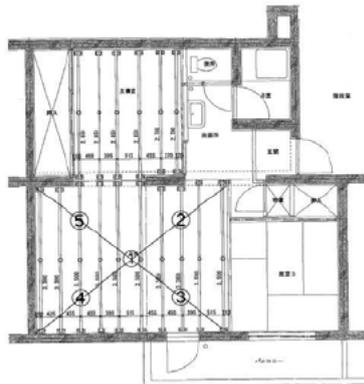
単位dB

1/1オクターブ帯域中心周波数 (Hz)						
63	125	250	500	1000	2000	4000
47.9	37.5	27.7	23.5	21.0	17.9	16.6



ビーム端部断面図

試験体2 断面図



加振点及び受音位置 試験体2



床衝撃音遮断性能測定結果

測定場所	花畑団地 16号棟		
測定日時等	平成25年5月14日(火) 10:30~12:15 晴れ 20°C 65%		
測定内容	重量床衝撃音遮断性能測定 (バングマシン・インパクトボール)		
測定室	加振室	202号室 (北側)和室	スラブ厚 110 (mm) (設計値)
	受音室	102号室 (北側)和室	
測定方法	JIS A 1418-1:2000 建築物の床衝撃音遮断性能の測定方法第1部:標準軽量衝撃源による方法 に準拠。		
	JIS A 1418-2:2000 建築物の床衝撃音遮断性能の測定方法第1部:標準重量衝撃源による方法 に準拠。		
評価方法	JIS A 1419-1:2000 建築物及び建築部材の遮音性能の評価方法 に準拠		
番号・試験体名	11 現状量 (旧量)		
バングマシン分析条件	最大音圧レベル(Lmax) 5回加振の平均値 Fast Flat		
インパクトボール分析条件	最大音圧レベル(Lmax) 5回加振の平均値 Fast Flat		
暗騒音分析条件	等価音圧レベル(Leq) 10秒間 Fast Flat		

加振源:重量標準音源1(バングマシン)

単位dB

加振位置	1/1オクターブ帯域中心周波数 (Hz)							L数	決定周波数 (Hz)
	31.5	63	125	250	500	1000	2000		
1	101.1	85.2	76.8	69.7	64.8	60.0	53.4	62	63
2	97.4	84.8	76.6	67.0	63.4	55.5	48.2		
3	96.8	84.1	75.5	65.2	59.3	54.1	47.2		
4	96.4	85.1	72.8	63.0	56.5	51.5	44.2		
5	98.3	86.0	72.5	63.3	61.3	56.4	49.1		
平均値	98.0	85.1	74.8	65.7	61.1	55.5	48.4		

加振源:重量標準音源2(インパクトボール)

単位dB

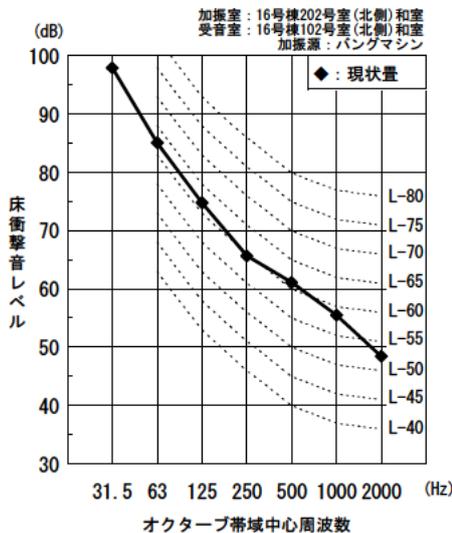
加振位置	1/1オクターブ帯域中心周波数 (Hz)							L数	決定周波数 (Hz)
	31.5	63	125	250	500	1000	2000		
1	93.9	77.2	69.6	59.9	52.0	42.5	36.2	59	125
2	92.6	79.6	75.0	61.3	57.6	44.6	35.5		
3	89.6	77.4	69.1	58.1	53.4	41.4	34.4		
4	89.4	77.4	76.3	62.9	55.0	40.8	27.9		
5	91.5	80.7	71.6	62.6	55.5	38.8	32.3		
平均値	91.4	78.4	72.3	60.9	54.7	41.6	33.3		

注1) 表中の背景色のハッチパターンは、分析対象外であることを表している。

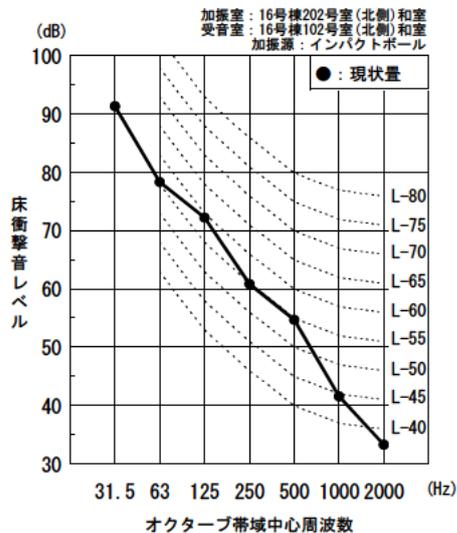
暗騒音

単位dB

1/1オクターブ帯域中心周波数 (Hz)						
63	125	250	500	1000	2000	4000
39.2	30.9	25.8	22.5	18.5	18.3	12.6



注) 31.5Hzと1000Hz及び2000Hzは、評価の対象外



注) 31.5Hzと1000Hz及び2000Hzは、評価の対象外

床衝撃音遮断性能測定結果

測定場所	花畑団地 16号棟		
測定日時等	平成25年5月14日(火) 10:30~12:15 晴れ 20°C 65%		
測定内容	軽量床衝撃音遮断性能測定 (加振源: タッピングマシン)		
測定室	加振室	202号室 (北側)和室	スラブ厚 110 (mm) (設計値)
	受音室	102号室 (北側)和室	
測定方法	JIS A 1418-1:2000 建築物の床衝撃音遮断性能の測定方法第1部: 標準軽量衝撃源による方法 に準拠。		
	JIS A 1418-2:2000 建築物の床衝撃音遮断性能の測定方法第1部: 標準重量衝撃源による方法 に準拠。		
評価方法	JIS A 1419-1:2000 建築物及び建築部材の遮音性能の評価方法 に準拠		
試験体番号・名称	11 現状量 (旧量)		
タッピングマシン分析条件	等価音圧レベル(L <sub>eq</sub> )	10秒間	Fast Flat
暗騒音分析条件	等価音圧レベル(L <sub>eq</sub> )	10秒間	Fast Flat

加振源: 軽量標準音源 (タッピングマシン)

単位dB

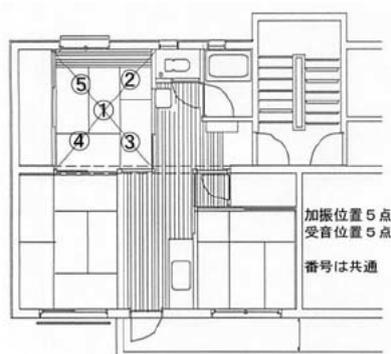
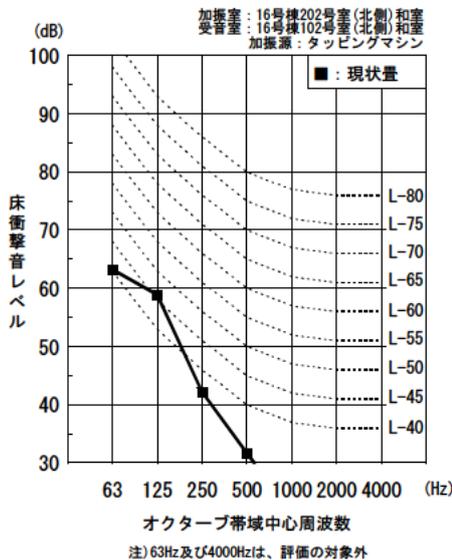
加振位置	1/1オクターブ帯域中心周波数 (Hz)							L 数	決定周波数 (Hz)
	63	125	250	500	1000	2000	4000		
1	63.7	55.1	39.3	31.8	21.8	19.7	13.9	46	125
2	61.8	57.8	42.6	33.5	21.9	19.8	13.6		
3	61.6	55.5	40.8	29.5	21.8	19.8	13.3		
4	64.3	64.0	45.1	32.4	22.0	19.1	13.2		
5	64.7	62.1	43.3	31.4	22.5	19.5	13.1		
平均値	63.2	58.9	42.2	31.7	22.0	19.6	13.4		

注1) 表中の背景色のハッチ パターンは、分析対象外であることを表している。

暗騒音

単位dB

1/1オクターブ帯域中心周波数 (Hz)						
63	125	250	500	1000	2000	4000
40.4	32.5	26.8	20.7	18.8	19.4	12.8



加振点及び受音位置 現状量

床衝撃音遮断性能測定結果

測定場所	花畑団地 16号棟		
測定日時等	平成25年5月27日(月) 11:10~12:20 晴れ 23℃ 60%		
測定内容	重量床衝撃音遮断性能測定 (バングマシン・インパクトボール)		
測定室	加振室	202号室 (北側) 旧和室	スラブ厚 110 (mm) (設計値)
	受音室	102号室 (北側) 和室	
測定方法	JIS A 1418-1:2000 建築物の床衝撃音遮断性能の測定方法第1部: 標準軽量衝撃源による方法 に準拠。		
	JIS A 1418-2:2000 建築物の床衝撃音遮断性能の測定方法第1部: 標準重量衝撃源による方法 に準拠。		
評価方法	JIS A 1419-1:2000 建築物及び建築部材の遮音性能の評価方法 に準拠		
番号・試験体名	12 スラブ素面		
バングマシン分析条件	最大音圧レベル(Lmax) 5回加振の平均値 Fast Flat		
インパクトボール分析条件	最大音圧レベル(Lmax) 5回加振の平均値 Fast Flat		
暗騒音分析条件	等価音圧レベル(Leq) 10秒間 Fast Flat		

加振源: 重量標準音源 1 (バングマシン)

単位dB

加振位置	1/1オクターブ帯域中心周波数 (Hz)							L 数	決定周波数 (Hz)
	31.5	63	125	250	500	1000	2000		
1	104.1	87.6	72.9	69.3	69.3	64.2	58.0	64	63
2	97.1	85.7	72.7	63.3	59.7	54.8	50.2		
3	97.1	86.8	72.3	64.7	60.9	55.5	49.4		
4	98.2	87.9	73.6	62.6	58.2	53.1	49.2		
5	100.4	89.1	73.8	65.3	64.9	60.1	51.7		
平均値	99.4	87.4	73.1	65.0	62.6	57.6	51.7		

加振源: 重量標準音源 2 (インパクトボール)

単位dB

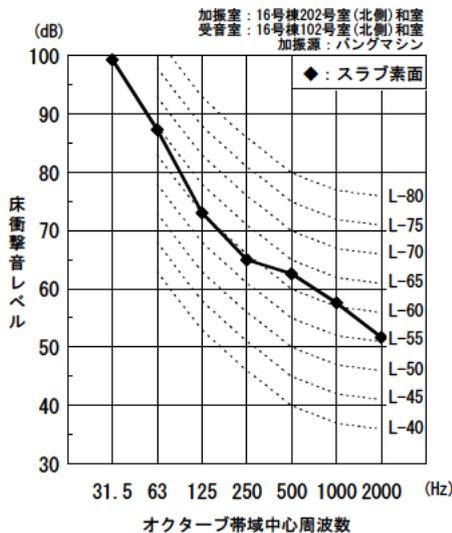
加振位置	1/1オクターブ帯域中心周波数 (Hz)							L 数	決定周波数 (Hz)
	31.5	63	125	250	500	1000	2000		
1	96.0	79.2	70.8	68.4	61.0	51.6	48.0	61	250
2	89.3	74.7	73.4	66.2	57.9	48.4	43.9		
3	89.7	75.9	71.8	67.9	59.9	48.5	44.3		
4	90.0	77.2	73.6	65.3	59.7	47.4	41.5		
5	91.5	79.0	74.5	66.6	60.9	49.7	42.4		
平均値	91.3	77.2	72.8	66.9	59.9	49.1	44.0		

注1) 表中の背景色のハッチ パターンは、分析対象外であることを表している。

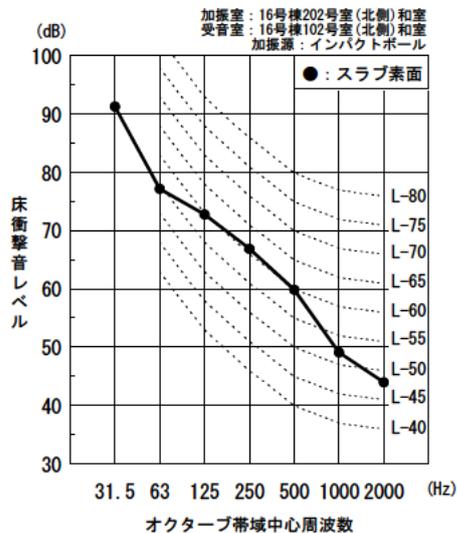
暗騒音

単位dB

1/1オクターブ帯域中心周波数 (Hz)							
63	125	250	500	1000	2000	4000	
39.2	35.0	26.3	22.9	20.5	18.6	17.1	



注) 31.5Hzと1000Hz及び2000Hzは、評価の対象外



注) 31.5Hzと1000Hz及び2000Hzは、評価の対象外

床衝撃音遮断性能測定結果

測定場所	花畑団地 16号棟		
測定日時等	平成25年5月27日(月) 11:10~12:20 晴れ 23℃ 60%		
測定内容	軽量床衝撃音遮断性能測定 (加振源: タッピングマシン)		
測定室	加振室	202号室 (北側) 旧和室	
	受音室	102号室 (北側) 和室	
測定方法	JIS A 1418-1:2000 建築物の床衝撃音遮断性能の測定方法第1部: 標準軽量衝撃源による方法 に準拠。		
	JIS A 1418-2:2000 建築物の床衝撃音遮断性能の測定方法第1部: 標準重量衝撃源による方法 に準拠。		
評価方法	JIS A 1419-1:2000 建築物及び建築部材の遮音性能の評価方法 に準拠		
試験体番号・名称	12 スラブ素面		
タッピングマシン分析条件	等価音圧レベル(L <sub>eq</sub> )	10秒間	Fast Flat
暗騒音分析条件	等価音圧レベル(L <sub>eq</sub> )	10秒間	Fast Flat

加振源: 軽量標準音源 (タッピングマシン)

単位dB

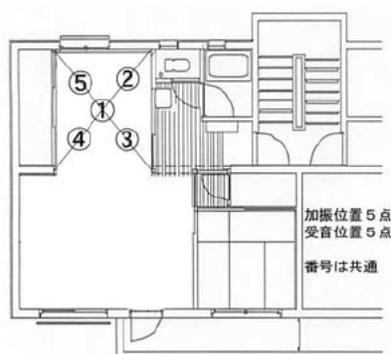
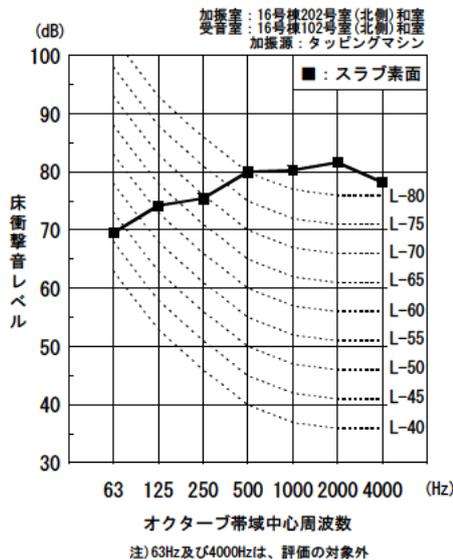
加振位置	1/1オクターブ帯域中心周波数 (Hz)							L 数	決定周波数 (Hz)
	63	125	250	500	1000	2000	4000		
1	69.5	71.5	76.1	81.6	82.6	84.5	81.4	86	2000
2	69.3	74.1	74.9	79.4	80.0	82.2	79.3		
3	70.2	72.8	75.7	79.6	79.7	80.5	76.6		
4	68.6	76.6	74.5	78.9	78.6	78.9	73.9		
5	69.7	75.8	75.8	80.5	80.7	82.0	79.7		
平均値	69.5	74.2	75.4	80.0	80.3	81.6	78.2		

注1) 表中の背景色のハッチ パターンは、分析対象外であることを表している。

暗騒音

単位dB

1/1オクターブ帯域中心周波数 (Hz)						
63	125	250	500	1000	2000	4000
36.2	30.0	24.9	20.4	19.4	20.2	15.1



加振点及び受音位置 スラブ素面

床衝撃音遮断性能測定結果

測定場所	花畑団地 1 6 棟		
測定日時等	平成 2 5 年 6 月 1 2 日 (水) 14 : 00 ~ 15 : 20 晴れ 2 3 °C 6 8 %		
測定内容	重量床衝撃音遮断性能測定 (バングマシン・インパクトボール)		
測定室	加振室	2 0 2 号室 (北側) 旧和室	スラブ厚 1 1 0 (mm) (設計値)
	受音室	1 0 2 号室 (北側) 和室	
測定方法	JIS A 1418-1:2000 建築物の床衝撃音遮断性能の測定方法第1部 : 標準軽量衝撃源による方法 に準拠。		
	JIS A 1418-2:2000 建築物の床衝撃音遮断性能の測定方法第1部 : 標準重量衝撃源による方法 に準拠。		
評価方法	JIS A 1419-1:2000 建築物及び建築部材の遮音性能の評価方法 に準拠		
番号・試験体名	13 試験体1 ニューシカ工法床組 (端部不陸調整モルタル施工) ・ D 種フローリング		
バングマシン分析条件	最大音圧レベル (Lmax) 5 回加振の平均値 Fast Flat		
インパクトボール分析条件	最大音圧レベル (Lmax) 5 回加振の平均値 Fast Flat		
暗騒音分析条件	等価音圧レベル (Leq) 1 0 秒間 Fast Flat		

加振源 : 重量標準音源 1 (バングマシン)

単位dB

加振位置	1/1オクターブ帯域中心周波数 (Hz)							L 数	決定周波数 (Hz)
	31.5	63	125	250	500	1000	2000		
1	94.2	81.6	76.2	69.5	67.9	50.3	42.4	64	500
2	88.4	79.7	75.3	67.9	66.6	50.3	43.2		
3	88.6	79.7	73.1	65.3	62.7	46.3	38.6		
4	90.3	78.6	74.8	66.5	65.1	45.9	38.4		
5	91.7	81.8	71.8	62.6	57.0	43.0	36.4		
平均値	90.6	80.3	74.2	66.3	63.9	47.1	39.8		

加振源 : 重量標準音源 2 (インパクトボール)

単位dB

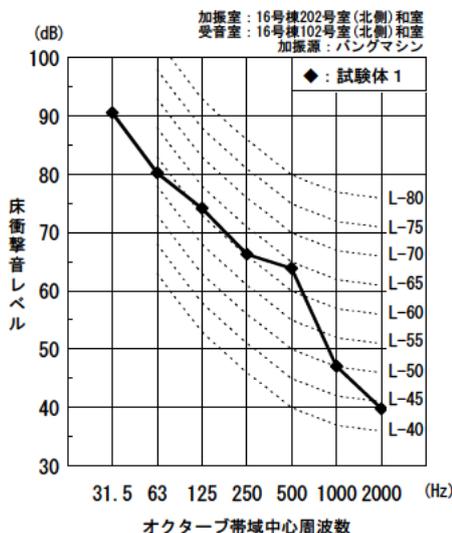
加振位置	1/1オクターブ帯域中心周波数 (Hz)							L 数	決定周波数 (Hz)
	31.5	63	125	250	500	1000	2000		
1	84.9	74.1	68.2	56.9	48.5	29.2	25.8	53	125
2	79.9	71.9	66.0	58.8	48.0	30.4	26.8		
3	78.6	71.0	66.1	54.9	41.3	29.7	31.9		
4	78.9	72.7	64.5	53.6	43.4	27.8	27.5		
5	81.2	71.6	64.8	53.8	46.6	27.5	24.8		
平均値	80.7	72.2	65.9	55.6	45.6	28.9	27.3		

注1) 表中の背景色のハッチ パターンは、分析対象外であることを表している。

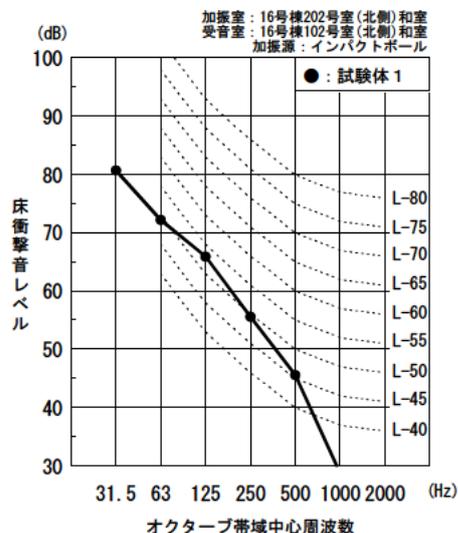
暗騒音

単位dB

1/1オクターブ帯域中心周波数 (Hz)						
63	125	250	500	1000	2000	4000
41.1	34.9	28.5	27.7	19.7	21.0	13.7



注) 31.5Hzと1000Hz及び2000Hzは、評価の対象外



注) 31.5Hzと1000Hz及び2000Hzは、評価の対象外

床衝撃音遮断性能測定結果

測定場所	花畑団地 1 6号棟		
測定日時等	平成25年6月12日(水) 14:00~15:20 晴れ 23°C 68%		
測定内容	軽量床衝撃音遮断性能測定 (加振源: タッピングマシン)		
測定室	加振室	202号室 (北側) 旧和室	スラブ厚 110 (mm) (設計値)
	受音室	102号室 (北側) 和室	
測定方法	JIS A 1418-1:2000 建築物の床衝撃音遮断性能の測定方法第1部: 標準軽量衝撃源による方法 に準拠。		
	JIS A 1418-2:2000 建築物の床衝撃音遮断性能の測定方法第1部: 標準重量衝撃源による方法 に準拠。		
評価方法	JIS A 1419-1:2000 建築物及び建築部材の遮音性能の評価方法 に準拠		
試験体番号・名称	13 試験体1 ニューシカ工法床組 (端部不陸調整モルタル施工) ・D種フローリング		
タッピングマシン分析条件	等価音圧レベル(Leq)	10秒間	Fast Flat
暗騒音分析条件	等価音圧レベル(Leq)	10秒間	Fast Flat

加振源: 軽量標準音源 (タッピングマシン)

単位dB

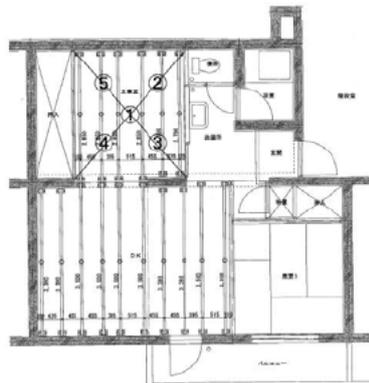
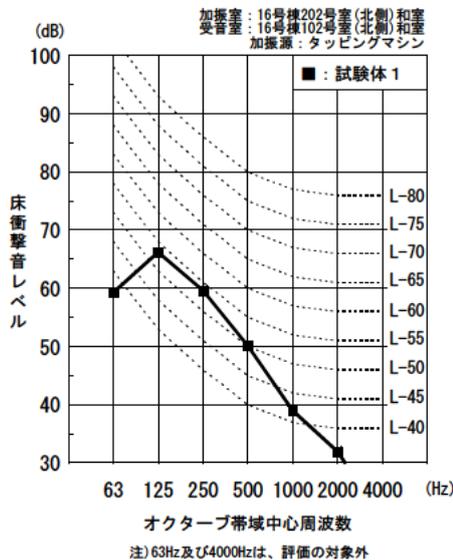
加振位置	1/1オクターブ帯域中心周波数 (Hz)							L 数	決定周波数 (Hz)
	63	125	250	500	1000	2000	4000		
1	58.5	63.8	60.7	49.5	40.2	32.2	21.5	54	250
2	60.0	66.1	58.8	50.1	39.4	32.1	19.2		
3	57.8	68.7	58.9	49.9	37.1	31.1	20.3		
4	60.7	66.2	60.4	49.7	38.1	30.8	20.3		
5	59.2	66.2	59.3	51.4	40.4	33.7	21.4		
平均値	59.3	66.2	59.6	50.1	39.0	32.0	20.5		

注1) 表中の背景色のハッチ パターンは、分析対象外であることを表している。

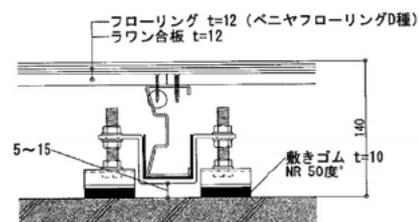
暗騒音

単位dB

1/1オクターブ帯域中心周波数 (Hz)						
63	125	250	500	1000	2000	4000
40.3	38.7	28.2	21.4	19.0	18.5	13.2



加振点及び受音位置



試験体1断面図

試験体1断面図

床衝撃音遮断性能測定結果

測定場所	花畑団地 16号棟		
測定日時等	平成25年7月25日(木) 11:10~11:45 晴れ 28℃ 68%		
測定内容	重量床衝撃音遮断性能測定 (バングマシン・インパクトボール)		
測定室	加振室	202号室 (北側) 旧和室	スラブ厚 110 (mm) (設計値)
	受音室	102号室 (北側) 和室	
測定方法	JIS A 1418-1:2000 建築物の床衝撃音遮断性能の測定方法第1部: 標準軽量衝撃源による方法 に準拠。		
	JIS A 1418-2:2000 建築物の床衝撃音遮断性能の測定方法第1部: 標準重量衝撃源による方法 に準拠。		
評価方法	JIS A 1419-1:2000 建築物及び建築部材の遮音性能の評価方法 に準拠		
番号・試験体名	14 試験体2 ニューシカ工法床組 (端部不陸調整モルタル施工、支持脚ゴム接着固定) ソフトフローリング		
バングマシン分析条件	最大音圧レベル(Lmax) 5回加振の平均値 Fast Flat		
インパクトボール分析条件	最大音圧レベル(Lmax) 5回加振の平均値 Fast Flat		
暗騒音分析条件	等価音圧レベル(Leq) 10秒間 Fast Flat		

加振源: 重量標準音源 1 (バングマシン)

単位dB

加振位置	1/1オクターブ帯域中心周波数 (Hz)							L 数	決定周波数 (Hz)
	31.5	63	125	250	500	1000	2000		
1	93.0	80.9	71.4	59.8	52.7	51.4	45.7	57	125
2	92.8	79.1	71.6	58.4	52.4	51.6	45.6		
3	91.9	77.7	68.6	58.8	51.7	51.4	45.4		
4	90.3	76.2	72.6	53.3	47.5	47.9	41.2		
5	91.8	80.0	64.6	53.3	48.4	50.9	45.4		
平均値	92.0	78.8	69.8	56.7	50.5	50.7	44.7		

加振源: 重量標準音源 2 (インパクトボール)

単位dB

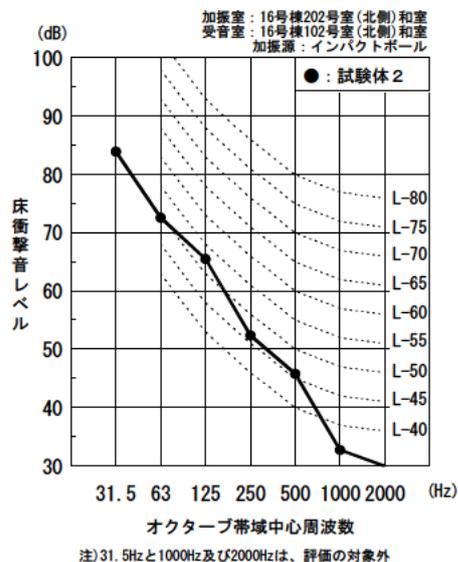
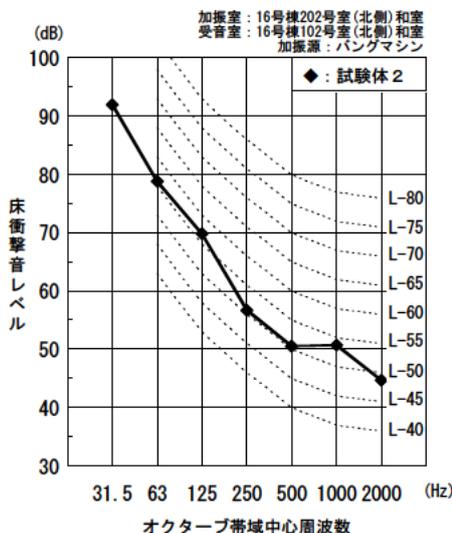
加振位置	1/1オクターブ帯域中心周波数 (Hz)							L 数	決定周波数 (Hz)
	31.5	63	125	250	500	1000	2000		
1	86.8	75.3	65.9	54.8	48.8	42.8	35.2	53	125
2	82.8	71.4	63.6	50.5	43.3	30.6	28.0		
3	83.9	72.8	66.3	54.0	44.1	31.5	29.4		
4	83.0	70.9	66.5	52.1	45.6	29.5	28.3		
5	83.2	72.5	65.4	50.6	47.1	29.3	28.7		
平均値	83.9	72.6	65.5	52.4	45.8	32.7	29.9		

注1) 表中の背景色のハッチ パターンは、分析対象外であることを表している。

暗騒音

単位dB

1/1オクターブ帯域中心周波数 (Hz)						
63	125	250	500	1000	2000	4000
43.3	33.9	26.8	22.8	21.3	19.9	13.8



床衝撃音遮断性能測定結果

測定場所	花畑団地 16号棟		
測定日時等	平成25年7月25日(木) 11:10~11:45 晴れ 28°C 68%		
測定内容	軽量床衝撃音遮断性能測定 (加振源: タッピングマシン)		
測定室	加振室	202号室 (北側) 旧和室	スラブ厚 110 (mm) (設計値)
	受音室	102号室 (北側) 和室	
測定方法	JIS A 1418-1:2000 建築物の床衝撃音遮断性能の測定方法第1部: 標準軽量衝撃源による方法 に準拠。		
	JIS A 1418-2:2000 建築物の床衝撃音遮断性能の測定方法第1部: 標準重量衝撃源による方法 に準拠。		
評価方法	JIS A 1419-1:2000 建築物及び建築部材の遮音性能の評価方法 に準拠		
試験体番号・名称	14 試験体2 ニューシカ工法床組 (端部不陸調整モルタル施工、支持脚ゴム接着固定) ソフトフローリング		
タッピングマシン分析条件	等価音圧レベル(L <sub>eq</sub> )	10秒間	Fast Flat
暗騒音分析条件	等価音圧レベル(L <sub>eq</sub> )	10秒間	Fast Flat

加振源: 軽量標準音源 (タッピングマシン)

単位dB

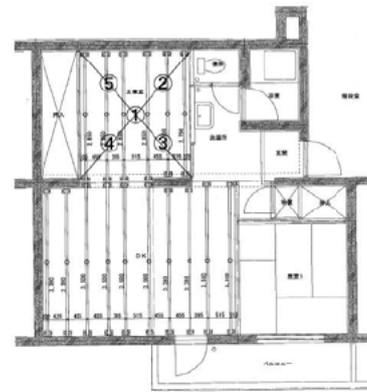
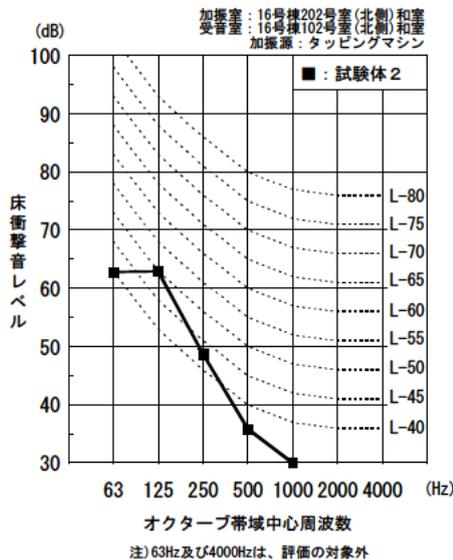
加振位置	1/1オクターブ帯域中心周波数 (Hz)							L 数	決定周波数 (Hz)
	63	125	250	500	1000	2000	4000		
1	64.7	59.2	48.6	36.3	25.3	22.3	14.3	50	125
2	61.9	62.8	49.5	34.1	26.0	21.7	14.3		
3	62.9	63.0	48.2	34.5	26.8	22.5	14.2		
4	64.6	65.6	47.7	35.9	26.5	22.9	16.0		
5	60.0	63.8	49.3	38.3	30.0	24.7	14.6		
平均値	62.8	62.9	48.7	35.8	30.0	22.8	14.7		

注1) 表中の背景色のハッチ パターンは、分析対象外であることを表している。

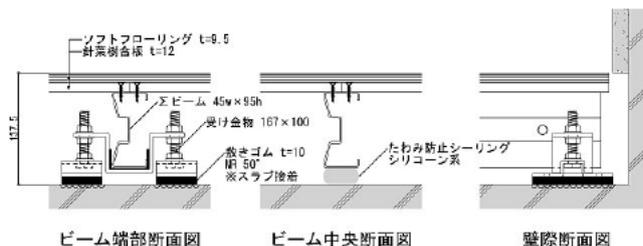
暗騒音

単位dB

1/1オクターブ帯域中心周波数 (Hz)						
63	125	250	500	1000	2000	4000
40.8	31.9	27.5	23.1	21.3	20.2	13.2



加振点及び受音位置



試験体 2 断面図

## 測定機器

名称	型名	製造者	写真・メモ
重量床衝撃音発生器 バングマシン	F I - 0 2	リオン	
重量床衝撃音発生器 インパクトボール	Y I - 0 1	リオン	
軽量床衝撃音発生器 タッピングマシン	F I - 0 1	リオン	
多チャンネル分析処理器	S A - 0 1	リオン	
コンデンサマイク	U C - 3 0	リオン	 上向き 三脚固定  マイク高さ 単位mm 受音位置1: 600 受音位置2: 800 受音位置3: 1,000 受音位置4: 1,200 受音位置5: 1,400  マイク5本による同時測定
プリアンプ	N H - 0 4 A	リオン	
騒音計校正器 ピストンホン	N C - 7 2	リオン	
			